におけるがいをとするののにする

（）

１　この（「」という。）は、をとするののにする（25。「」という。）101のにづき、また、をとするののにする（27224。「」という。）にして、にするにし、（びをむ。「」という。）がにするためになをめるものとする。

（ないの）

２　は、7１ののとおり、そのはをうにたり、がい（がい、がい、がい（がいをむ。）そののののがいをいう。じ。）をとして、がい（がいびによりにはになをけるにあるものをいう。じ。）でないとないをすることにより、がいのをしてはならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

（の）

３　は、72ののとおり、そのはをうにたり、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、がいの、びがいのにじて、ののについてかつな（「」という。）をしなければならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

（の）

４　のうち、のにある（「」という。）は、2にげるにし、がいをとするのをするため、のにげるをしなければならない。

（１）のをじたにより、がいをとするのにし、そのするのをし、がいをとするのにするをめさせること。

（２）がいからない、のにする、のしがあったは、にをすること。

（３）のがされた、するにして、のをにうようすること。

２　は、がいをとするにするがじたには、かつにしなければならない。

（の）

５　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするためのをにく。

２　をけるは、、、にするとともに、、、ファックス、メールなど、がいがとコミュニケーションをるにとなるなについて、なでにしなければならない。

３　せられたは、においてし、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のはにじ、をるようめるものとする。

（・）

　がいをとするののをるため、にし、な・をうものとする。に、たにとなったにしては、がいをとするのにするなについてさせるものとする。

また、たにとなったにしては、がいをとするのにしめられるについてさせるものとする。

２　にし、がいのをさせるとともに、がいへにするためになマニュアルにより、のをる。

　このは、２９　４　１　からする。

におけるがいをとするののにするにる

１　ないのなえ

　は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。

なお、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、がいを、となるはについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。なにするかかについては、なをせずにするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

は、ながあるとしたには、がいにそのをし、をるようめることがましい。

３　ないの

ないにたりるはのとおりである。なお、２でしたとおり、ないにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（ないにたりる）

〇　がいであることをにをする。

〇　がいであることをにのをしにする。

〇　がいであることをにの、の、パンフレットのをむ。

〇　がいであることをに、シンポジウムへのをむ。

〇　・の、にではないにもかかわらず、がいであることをに、のにきいのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、きいのをんだりする。

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

　　は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなみであり、そのにうがでないものである。

　　は、はの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにばないことにするがある。

２　は、がいのやのがめられるやにじてなり、かつのいものであり、がいがにかれているをまえ、ののためにびについては、「５　なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとする。

　　なお、をとするがいがまれる、がいとのがにわたるには、そのののではなく、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、、のやサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

 また、がいからののみでなく、がいやがい（がいをむ。）によりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なみにめることがましい。

４　は、がいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティののののとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

５　はのとしてするを、にするは、されるのにきながずることによりがいがをけることのないよう、のに、をまえたのについてりむようめることがましい。

５　なのなえ

なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。

は、なにたるとしたは、がいにそのをし、をるようめることがましい。

〇　はへのの（はの・・をなうかか）

〇　の（び、びの）

〇　びの

６　の

４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。

なお、したについては、５でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（にたりるへのの）

〇　があるに、にキャスターげのをする。

〇　のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。

〇　のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。

〇　がいのにより、にのがあるに、のをにする。

〇　をじやすいがいからでののしがあった、のがであったことから、がいにをし、のくにをさせてのスペースをける。

〇　によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。

〇　やがした、でのをくことがしいがいにし、きのボードをするなど、かりやすくしをる。

（にたりるのの）

〇　、みげ、、のコミュニケーションをいる。

〇　について、などのがなるをするは、ページのいにしたを行う。

〇　のにたり、をながらをくことがなはにがいのあるやがいをつにし、ゆっくり、なをけるなどのをう。

〇　のにたっては、がのがいのにったサポートをうなど、なでのを行う。

〇　がながいにし、カードをしてをする。

〇　などで、でうを、にメモをしてす。

〇　のに、をののでしたり、かりやすいでしたりする。のがあるには、といったをう。

〇　がながいにし、、などをいずににする。

〇　がいからしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするなどのをにいたメモを、にじてにす。

（ルール・のなの）

〇　をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。

〇　ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。

〇　スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。

〇　をにへする。

〇　ののにおいて、がいのがまれる、、がいとされていないをがいのにする。

〇　との、のにいることによるにより、のがある、がいにの、がいのやのにじてをする。

〇　はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

（がいにじたについて）

　　がいにじたのにしては、がした「がいのあるへのよりよいができるサポートブック」にながいとにすべきについてされているので、にされたい。